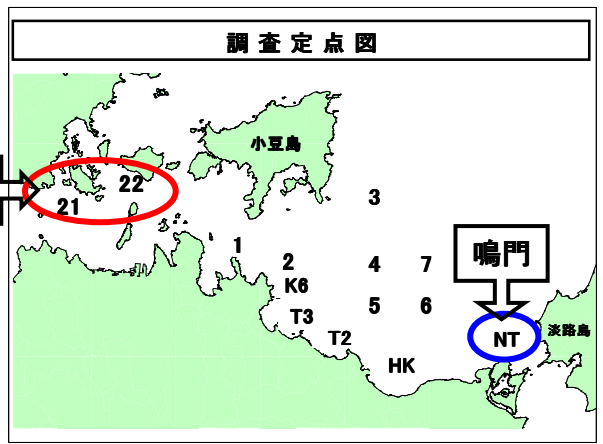


# カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2009. 9- 1)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



## 調査方法

調査日: 9月2日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点

(調査定点図参照)

## 【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.9.4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	欠測				0.1	0.1
2008.9.2	0	0	2	2	0	13	4	1	0	0	0	0	0	1	2.0	1.6
2009.9.2	1	0	0	304	8	0	90	0	0	7	0	0	0	0	37.3	29.3
<b>2010.9.2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>54</b>	<b>21</b>	<b>0</b>	<b>31</b>	<b>71</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>20</b>	16.1	14.1

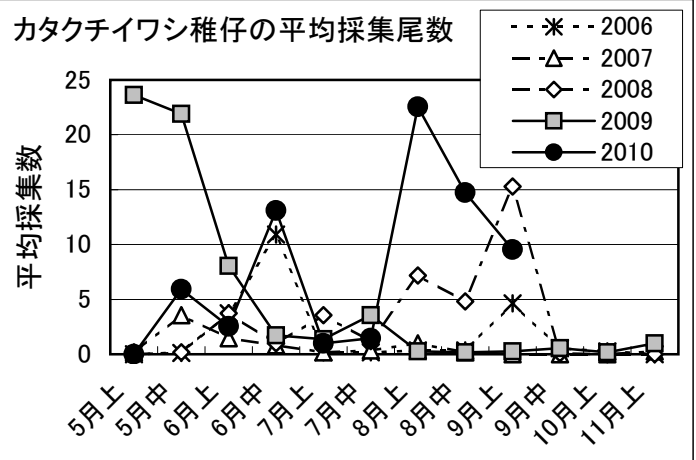
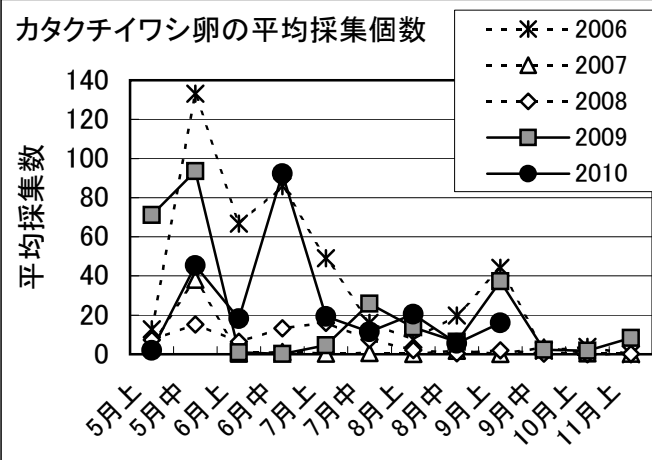
## 【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.9.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠測				0.0	0.0
2008.9.2	1	6	25	49	0	42	0	44	1	0	0	0	0	3	15.3	12.2
2009.9.2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0.3	0.2
<b>2010.9.2</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>11</b>	<b>22</b>	<b>8</b>	<b>18</b>	<b>30</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>6</b>	9.5	7.9

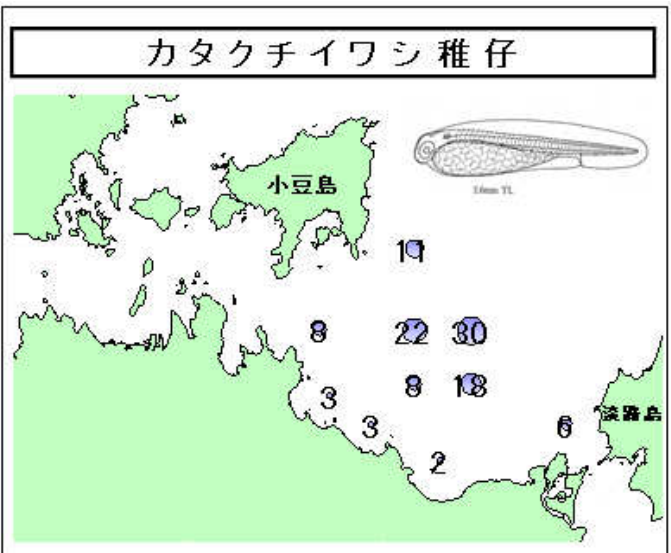
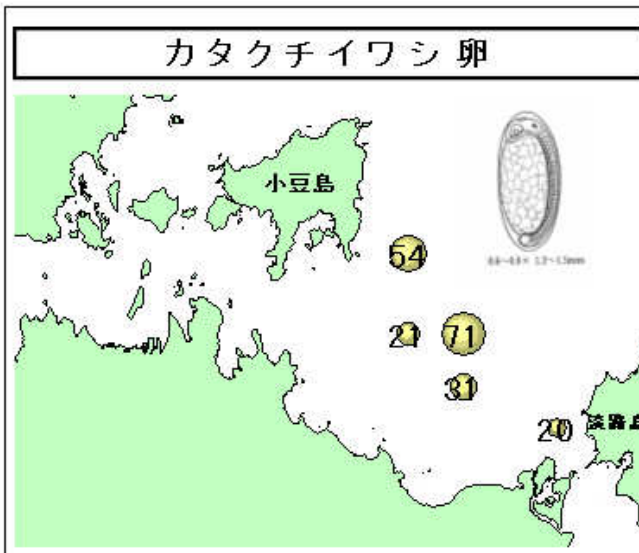
\* 表中の「-」は未測定を表す。

\* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

\* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



\* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



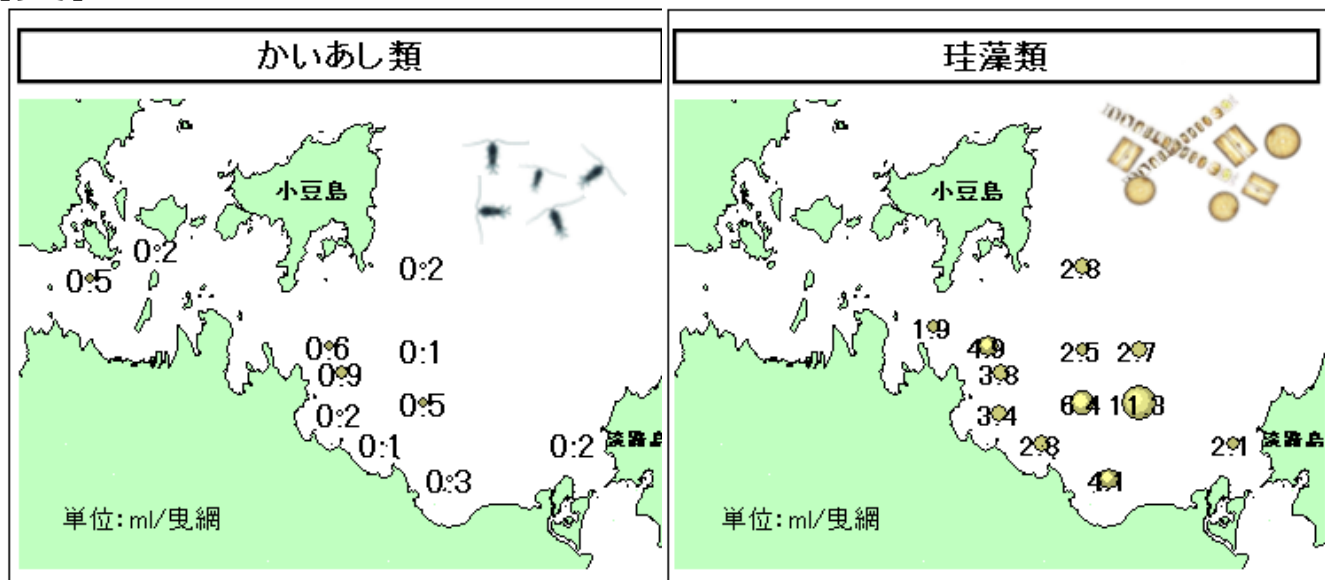
播磨灘11定点における卵の平均出現数は16.1個となり、昨年同時期を下回った。卵は沖合いで出現数が多かった。

一方、稚仔の出現は平均で約 9.5尾となり、昨年同時期を大きく上回った。稚仔の出現は沖合を中心に分布しており、播磨灘での稚仔の出現がやや多い傾向を示した。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、7月上旬以降の水温は平年並みかかなり高めで推移している。

餌料生物として重要なかいあし類は、前回より増加し、11点の平均は0.27mL/曳網と前回の6.4倍であった。カタクチイワシの成魚であれば利用可能な珪藻類は、今回 4.2mL/曳網と前回の45%であった。

【参考】



今回の平均: 0.27      前回の平均: 0.04

今回の平均: 4.23      前回の平均: 9.41

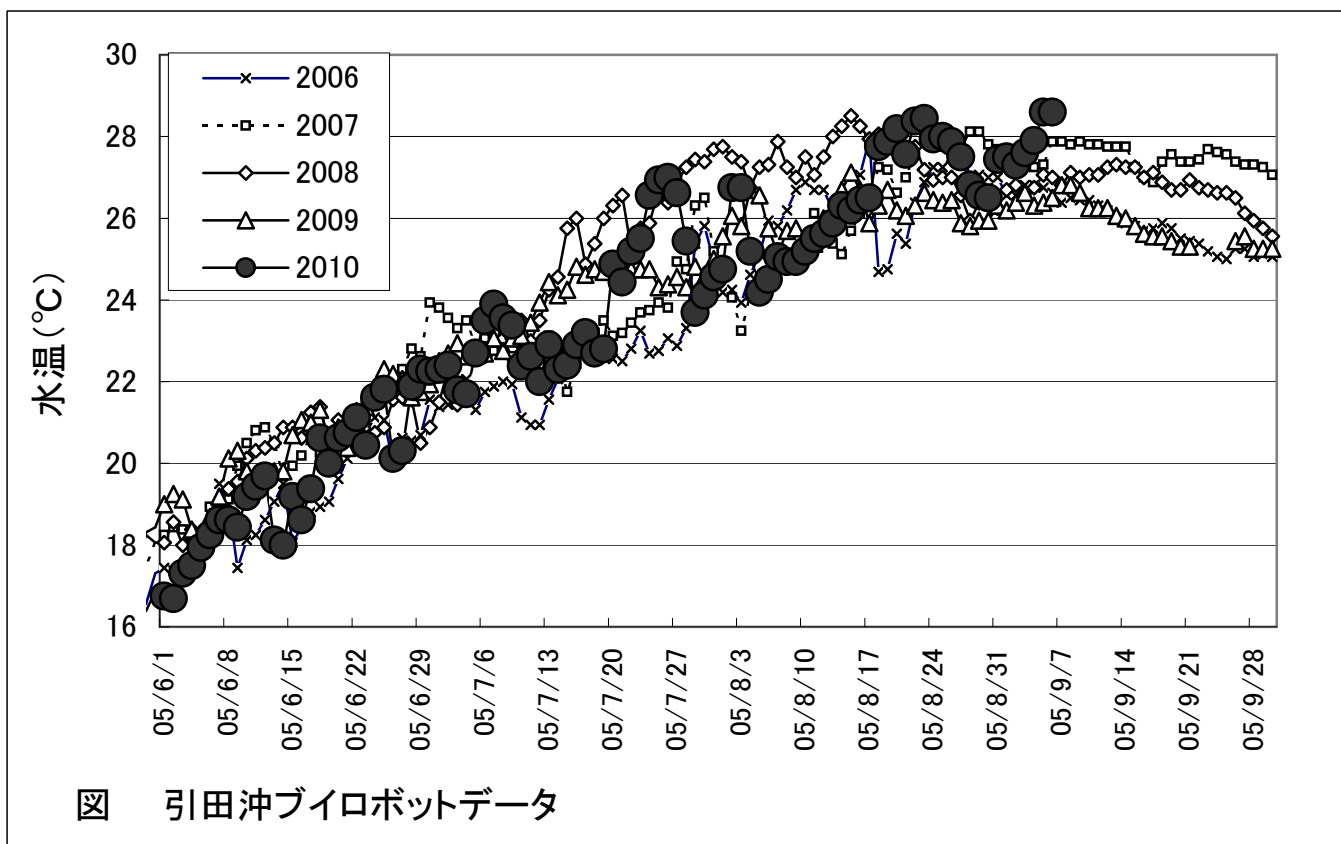


図 引田沖ブイロボットデータ

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。